



次世代への責任

~人への投資が、未来をつくる~

連合鳥取は

湯原俊二さんを応援します!

野田佳彦立憲民主党新代表を先頭に 政権交代をめざします



【連合鳥取推薦

湯原俊二衆議院議員の決意】

この十数年間の自民党政治は、森友、加計、桜を見る会、裏金問題をはじめ多くの不祥事がありました。しかし、国民の疑念疑問に対して、まともに応えようとせず説明責任を果たしてきませんでした。透明性高く国民に説明を尽くす政治に変えなければなりません。

また、自民党及び自民党議員は、政治資金パーティーを利用し実質的に多額の企業団体献金を受け取っています。その結果、国民の利益より献金をしてくれた企業団体の利益を優先する政治になっています。企業団体献金の禁止と政治資金パーティーの禁止をしなければなりません。

この十数年間、アベノミクス、異常な金融・財政・経済政策により、一部の大企業と株を持っている富裕層はより豊かになりました。一方、大多数の国民は物価高で生活は大変厳しくなっています。アベノミクス、異常な金融・財政・経済政策、新自由主義的な政治の転換が必要です。法人や富裕層に応分の負担を求めながら、お預かりした税金で、子育て・教育・雇用・年金医療介護など国民の生活を下支えすべきです。その結果、所得の中間層が増え、国内の経済の6割を占めている個人消費が増え、経済の好循環になります。

この他にも地球環境、財政危機の問題など待ったなしの課題が山積しています。何としても政権交代を実現し、政治を根本的に変えなければなりません。

※インターネットで → を検索ください。

過去の発言風景がご覧になれます。

湯原さんのホームページもご覧ください

二次元コードからつながります▶



湯原俊二衆議院議員

公式YouTubeチャンネル⇒

公式YouTubeチャンネルを開設
"チャンネル登録"をお願いします!



2025年度予算に対する政策・制度要求について鳥取県担当部局と部局交渉を実施

7月30日(火)、山口一樹会長から平井伸治鳥取県知事に手交した「連合鳥取2025年度予算に対する政策・制度要求【7分野26項目】」のそれぞれについて、9月9日(月)と10日(火)に鳥取県担当部局と部局交渉を実施しました。

要求内容によっては複数の部局にまたがる課題もありましたが、担当役員から要求内容を説明し、理解を求められました。

今後、10月上旬頃に鳥取県から書面による回答が届く予定となっています。

＜鳥取県担当部局との部局交渉＞

対応部局	要求項目
政策戦略本部	▶ふるさと納税制度の運営 ▶豊かな森づくり協働税の運用 ▶マイナンバー制度の理解促進
輝く鳥取創造本部	▶外国人労働者に対する支援 ▶空き家対策の推進 ▶人口減少対策の推進 ▶公共交通の利便性向上と利用促進、存続維持など支援強化 ▶バス・タクシードライバー不足への対応
危機管理部	▶災害発生時の障がい者の充実整備 ▶デジタル弱者への対応 ▶女性視点を取り入れた防災対策の策定 ▶小売業等インフラ事業者への安全確保基準の策定 ▶総合的な防災・減災対策の充実
総務部	▶公契約条例及び公共サービス基本条例の制定
地域社会振興部	▶各種選挙における投票率向上に向けた取り組み ▶義務教育段階での主権者教育の実施 ▶自治体で働く臨時・非常勤・会計年度任用職員の処遇改善 ▶ジェンダー平等の推進と多様性を認め合う社会の実現 ▶旧姓・通称使用範囲の拡大と選択的夫婦別姓制度の導入 ▶人権尊重の社会づくり
福祉保健部	▶地域福祉計画の策定支援と見直しへの対応 ▶生活困窮者自立支援体制確立 ▶子どもの貧困対策 ▶ヤングケアラーの実態把握と支援体制の整備 ▶地域医療の充実と鳥取県保健医療計画の進捗管理 ▶不妊治療の支援充実と周知徹底 ▶介護施策の充実と周知 ▶自治体病院職員の勤務環境改善への指導強化 ▶災害時の人的医療体制の整備や施設の体制強化 ▶介護人材の育成や負担軽減等離職防止策の充実 ▶介護施設における虐待防止 ▶障がい者の労働条件・職場環境改善
子ども家庭部	▶過労死防止対策の充実強化 ▶子どもの貧困対策 ▶不妊治療の支援充実と周知徹底 ▶「シン・子育て王国とっとり計画」推進体制の充実 ▶通学環境の拡充整備 ▶私立高等学校の振興と教育環境の整備、生徒・保護者の負担軽減等のための施策 ▶教職員の勤務環境改善 ▶困難な問題を抱える女性への支援体制の強化
生活環境部	▶「令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン」の進捗管理と分析 ▶消費者教育の推進と倫理的(エシカル)消費の促進
商工労働部	▶「パートナーシップ構築宣言」の推進・拡大 ▶悪商習慣の是正と取引価格適正化の推進 ▶中小企業振興への環境整備 ▶地域の特性を生かしたまちづくりの推進 ▶地域金融機関の支援を通じた地域経済の活性化 ▶労働施策推進のため県と労働団体等との連携強化 ▶過労死防止対策の充実強化 ▶すべての労働者に対する職業能力開発機会の充実 ▶移住・定住推進を通じた人材確保策の充実 ▶障がい者雇用 ▶若者への労働者の基礎知識習得強化 ▶地域別最低賃金 ▶あらゆるハラスメントの根絶
農林水産部	▶豊かな森づくり協働税の運用 ▶食農教育を通じた県農畜産物や食文化の理解促進に向けた取り組みの強化 ▶農業支援施策の充実強化 ▶生産資材高騰対策の充実 ▶食料安全保障に関する取り組みの強化
会計管理部	▶公契約条例及び公共サービス基本条例の制定
教育委員会	▶働き方改革に向けた体制強化 ▶教育の機会均等の保障、教育環境施策の拡充 ▶部活動指導者育成の推進 ▶各種選挙における投票率向上に向けた取り組み ▶私立高等学校の生徒・保護者の負担軽減等のための施策



＜部局交渉の様子＞

青年委員会発

モノを片付けることで自分自身としっかり 一青年委員会 向かい合い自分らしさを見つけよう！ 「2024年度学習会」に48人参加

青年委員会は9月14日(土)、中部教育会館に整理収納アドバイザーの江原朋美さん(流通株式会社)を講師として招き、「仕事と暮らしを整える整理術」の内容で「2024年度学習会」を開催しました。

整理収納のメリットとして、「時間的効果」「健康・精神的効果」「経済的効果」があり、具体的には仕事面の影響として時間や人件費の多大な損失があります。損失を防ぐために「お片付けのステップ」を順番に踏む必要があり、整理、収納、整頓、片付けの順でステップを踏むことで整理収納の「仕組み」と「習慣化」を醸成することができます。

整理収納の基本的なことを学んだ上で、モノの数量管理や収納の優先度、収納グッズの選択などの整理収納術を詳しく説明をいただきました。



最後に参加者からの質疑応答では、子どもが小学校から貰ってきたプリントの整理方法など、日常生活での役に立つ質問を多くの方からいただきました。

3連休の初日に多くみなさまに参加いただきありがとうございました。

今後も青年委員会では各産別のみなさまの興味いただける企画を進めていきますので、またのご参加をよろしく願いいたします。

(寄稿 青年委員会副委員長 井上貴裕さん)



写真上/講師 江原朋美さん

Check しよう!

10月5日から鳥取県の 地域別最低賃金は

時給 957円



■ 平和特集 (フォトニュース) ■

連合平和 行動に参加

平和行動
in 根室
【9/8-9】

連合鳥取より
2人参加



北方四島学習会



平和ノサップ集会



連合中国ブロック連絡会として「竹島の領土権確立」を求めるチラシを参加者に配布

西部地協発

政治とカネの問題について学ぶ —「湯原俊二」国政報告・政策学習会 開催—

西部地域協議会は9月5日(木)、ふれあいの里において、連合推薦議員の湯原俊二さんを講師に、国政報告、今の政策の抱える問題点などを講演いただき学習を深めました。

総勢60人が参加する中、自民党が受けている上場企業からの献金額や業界・政治団体の献金額を一覧に示された説明が行われ、自民党へのその金額の大きさに驚愕しました。その中で、企業では住友化学、トヨタ自動車とともに5,000万円とトップで、団体においては、日本医師連盟がずば抜けて大きく2億円、次に日本自動車工業会が7,800万円とこれまた大きな金額が示されました。

また官房機密費について、そのうちの政策維持費は、およそ7年8カ月程度の安倍政権時代には約87億円、しかもこれは使途が公開されないという異常な状態であることを指摘され、自民党政治におけるお金の話を興味深く聞きました。

そして次に所得税負担率についての話では、所得が1億円を超えるところから所得税負担率が低下し、株式譲渡等による税負担が上がることを示され、有価証券等取引にかかる税が一律であることの問題点、つまりお金持ちはさらに資産を蓄えることができる仕組みが示されました。

政治と金に纏わるわかりやすい話をしていただき、最後は参加者全員で来るべき選挙の備え、湯原俊二さんの必勝に向けて団結していくことを誓いあいました。



第31回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会開催

9月7日(土)、「第31回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会」をグリーンパーク大山ゴルフ倶楽部(南部町)にて14組・54人参加のもと開催しました。

青空のもと、参加のみなさんの親睦を深める良い機会となりました。

優勝	永見浩之さん (JR連合)	GROSS : 85	HDCP : 13.2	NET : 71.8
準優勝	野村達也さん (紙バ連合)	GROSS : 108	HDCP : 36.0	NET : 72.0
第3位	下村浩司さん (私鉄総連)	GROSS : 89	HDCP : 16.8	NET : 72.2



山口会長(右)から優勝賞品(お肉目録を永見さんに贈呈

※今回も社会貢献活動の一環としてチャリティーを行いました。(チャリティー金 38,700円)

使途については別途執行委員会で報告します。

東部地協発

今年も「第36回鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会」に協力

9月8日(日)、「第36回鳥取さわやか車いすマラソン&湖山池ハーフマラソン大会」が、ヤマタスポーツパーク陸上競技場で開催されました。

東部地域協議会は、2011年から社会貢献活動の一環として参画しています。

今回も東部地域協議会から役員3人を派遣して、駐車場で障がい者介助・誘導を担当しました。多くの選手が次々と駐車場に到着する中、事故が起こらないよう声をかけ合い、連携して介助・誘導を行いました。



大会の様子

【大会概要】

1989年に車いすのマラソン大会としてはじまりましたが、今では、障がいのある方もない方も男女、年齢を問わず同じ距離に挑戦し、互いに理解と親睦を深めて共生社会の実現をめざしています。

今回の「第36回大会」には、鳥取県内外から車いすランナー37人を含む700人が参加しました。



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

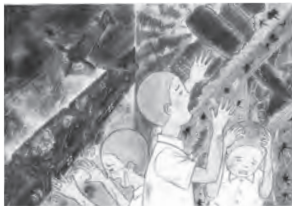
連合鳥取「2024平和学習会」

■日 時 2024年10月5日(土)13時30分～15時30分

■場 所 三朝町総合文化ホール

■日 程

- ①主催者あいさつ
連合鳥取 山口一樹会長
- ②演劇「昭和二十年、夏。」
演劇集団「あり」
- ③まとめ 連合鳥取国民運動局 三浦敏樹局長



演劇集団「あり」公演予定

連合鳥取主催ではありませんが、下記日程で演劇集団「あり」無料公演が開催されます。どなたでもご鑑賞いただけますので、お知らせします。

日 時	場 所	主 催 者	問い合わせ先
10月 6日(日)13:30～	鳥取市面影地区公民館	面影地区人権啓発推進協議会	0857-24-9033
10月19日(土)13:30～	米子市箕蚊屋小学校	熊党・二本木・上蚊屋合同小地域懇談会	0859-27-0910
10月27日(日)14:00～	ヴィレステ日吉津	ヴィレステ日吉津	0859-27-0606
11月 4日(月・祝)14:00～	南部町キナルなんぶ	南部町教育委員会	0859-46-0870

連合鳥取「第32回定期大会」

■日 時

2024年11月21日(木)13時開会

■場 所

エースパック未来中心・小ホール

■議 事

▶報告事項

- ①2024年度一般活動報告
- ②2024年度会計決算報告
- ③2024年度会計監査報告
- ④2024年度剰余金処分(案)

▶議 案

- ①第1号議案
2025年度運動方針(案)について
- ②第2号議案
2025年度予算(案)について
- ③第3号議案 役員選挙(補充)
- ④第4号議案 その他

※産別を通じて案内しています

“ザ・議員”

ながさかのりお **長坂 則翁**

鳥取市議会議員

8月6日(火)～7日(水)、姫路市で開催された「鳥取市・姫路市姉妹都市親善交歓会」に鳥取市議会議員17人の一員として参加しました。

初日の午前は、昨年3月13日開場された「姫路市中央卸売市場」を視察し、午後は意見交換に臨み、「ウォーカーカプル推進計※について」をテーマに、姫路市議会議員と意見交換を行いました。

2日目は、午前には妊娠から出産、そして子育てが安心して行える拠点の「姫路市こどもの未来健康支援センター『みらいえ』」と、姫路城主が造営した「好古園(庭園)」を視察して姫路市議会議員との交流を深め、有意義な親善交換会を無事終了し、帰鳥しました。



意見交換会の様子(2024.8.6) 向かい側左から3番目が長坂議員

※ウォーカーカプル推進計画とは、車中心からひと中心の空間に転換するため、まちなかで街路や公園、広場などを修復・利活用する自治体に対し、必要な経費の半額を国が補助する仕組み

ふくいやすお **福井 康夫**

倉吉市議会議員

－6月議会報告－

「小児医療無償化がようやく実現」しました。児童・保護者にとって、受診控えの抑制や子どもの病気の早期発見と治療に効果が期待できます。

そこで市民の健康を守る対策として、今回は「带状疱疹ワクチン」への接種に対する一部補助について質問しました。現在このワクチンは自己負担が8,000円から数万円と高額で、しかも保険適用がなく全額自己負担となっています。全国ではすでに281自治体で補助制度が創設されています。「任意予防接種」について、現在その有効性と安全性が確認されれば「定期接種化」となる方向で厚生労働省では審議されています。

夢と希望、そして安心して健康な街づくりに向けて追及していきます。

連合のみなさまの引き続きのご支援をお願いいたします！



「中部街宣車」配備されました！

今年の夏の暑さは異常である。100年毎に平均では気温が1.65度上がっている。ただが実際の体感温度はそれ以上に感じる。先日テレビで拝見したが、令和の米騒動といわれているほど、米不足とのことである。スーパーやディスカウントショップには、米が陳列されておらず、売り切れの文字をどこかしこで見かける▼そのため、今年の米の流通価格は値上がりをするだろうとの予測もあり、農業従事者には吉報である。しかし、30年程前の米の価格は現在の2倍以上であった。物価の下落とともに一緒に下がり続けてきたため、米の価格が上がるのは当然のことだと思ふ▼農業従事者は顕著に減っている。高齢化と後継者不足、そして働いてもお金にならないため、断念する方もいるとのことである。このような産業に対するイメージの払拭ではないが、よりよい環境で、そして働いている方々が適正な報酬を得て、働ける社会になってくれることを心から願う。

(ゆっちや)



てんてんてんてん